**2022年　4月改訂（第5版）
*2020年10月改訂（第4版）

医療機器届出番号 34B1X00001000063

機械器具 74　医薬品注入器

一般医療機器　　経腸栄養注入セット　70400000

# ジェイフィード栄養セット

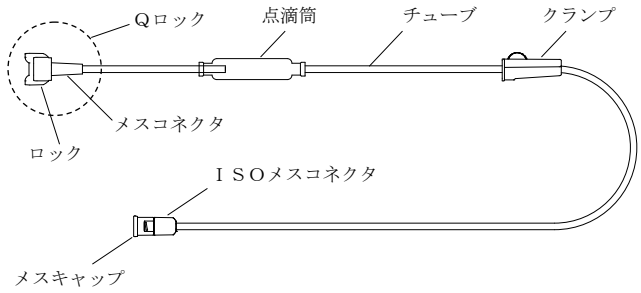
再使用禁止　　（ISO 80369-3 タイプ）

## 【禁忌・禁止】

再使用禁止

## 【形状・構造及び原理等】

### 〈構造図（代表図）〉




・ＩＳＯメスコネクタはISO 80369-3に適合している。

### **〈原材料〉

| 構成部品 | 原材料 | |
|---|---|---|
| | ＤＥＨＰフリー規格 | ＰＶＣフリー規格 |
| メスコネクタ | ポリ塩化ビニル | スチレン系熱可塑性エラストマー |
| 点滴筒 | ポリ塩化ビニル、ポリプロピレン、ポリブタジエン、ステンレス鋼 | ポリプロピレン、ポリブタジエン、ステンレス鋼 |
| チューブ | ポリ塩化ビニル | ポリブタジエン |
| 継ぎ管 | ポリ塩化ビニル | ポリカーボネート |
| ＩＳＯメスコネクタ | ポリカーボネート | ポリカーボネート、ポリプロピレン |

・ＤＥＨＰフリー規格はポリ塩化ビニル(可塑剤：トリメリット酸トリ(２－エチルヘキシル))を使用している。

### 〈仕様〉

| 項目 | 性能 |
|---|---|
| 耐圧性 | 20kPa |
| 引張強度 | 15N |

### 〈原理〉

本品のメスコネクタを栄養剤等の容器に、本品のＩＳＯメスコネクタを栄養カテーテル等にそれぞれ接続し、クランプにより流速を調節して栄養剤等を患者へ投与する。

## 【使用目的又は効果】

胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して栄養剤、医薬品等を投与する器具。

## 【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出します。
2. クランプを完全に閉めます。
3. 本品を栄養剤等の容器に接続します。
   (1) Qロックとロック接続できる容器の場合は、ロック部分を持ち、メスコネクタをまっすぐ投与口へ挿入し、突きあたるまで押し込んだ状態で右に回転させ、ロック部分を投与口の突起(ツメ)と接続します。接続できた場合はカチッと感があります。
   (2) Qロックとロック接続できない容器の場合は、ロック部分を持ち、メスコネクタを投与口へまっすぐ挿入し、外れないようにしっかり押し込み接続します。
4. 栄養剤等を点滴筒の半分程度まで入れてクランプを徐々に開きます。
5. 栄養剤等を本品のＩＳＯメスコネクタまで満たし、クランプを完全に閉めます。
6. メスキャップを外し、栄養カテーテル等のISO 80369-3に適合したオスコネクタに緩みや外れが生じないようにしっかりと接続します。
7. クランプを徐々に開き速度を調節し、投与を開始します。
8. 点滴量(滴下数)
   包装又は箱の点滴量表示を参照のこと。

### 〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 個包装を開封する際は、はさみ等の刃物を使用しないこと。[本品を傷つけ、液漏れが生じるおそれがある。]
2. 点滴量については、一滴あたりの容積が栄養剤等によって異なるおそれがあるので注意すること。
3. 栄養剤は室温になじませてから使用すること。点滴筒内が泡立つようなプライミング操作を行わないこと。併用する医薬品及び医療機器の添付文書に指定がない場合は、点滴筒の半分程度まで栄養剤をため、液面低下に注意すること。[ライン内に空気が発生、混入するおそれがある。]
4. プライミング後、点滴筒を横にしたり、傾けたりしないこと。[ライン内に空気が混入し、栄養剤等が流れにくくなるおそれがある。]
5. Qロックでロック接続する場合は、ロック部分が投与口の突起(ツメ)に確実に接続(ロック)されていることを確認すること。また、ロック部分を過度に回転させないこと。[接続が不十分な場合、外れ、液漏れが生じるおそれがある。][過度に回転させるとロック部分や突起(ツメ)が破損するおそれがある。]
6. 栄養カテーテル等を接続する際は、過度なかん合をしないこと。[コネクタが外れない、又はコネクタが破損するおそれがある。]
7. コネクタのはめ合わせ部に栄養剤等が可能な限り付着しないように注意すること。[接続部に緩みが生じるおそれがある。]
8. クランプを使用した場合は、投与再開時にクランプ部分のチューブの閉塞、変形に注意すること。
9. 鉗子及びクランプはチューブと硬質部品の接合部では操作しないこと。[チューブが破損する、又は接合部が外れるおそれがある。]
10. チューブを鉗子等で傷つけないように注意すること。[鉗子の根元又は先端でクランプすると、チューブが破損し液漏れ、空気混入等が生じるおそれがある。]
11. クランプの調節を行う際は、ローラに対して斜め方向に力を加えないこと。[ローラの破損や脱輪が生じるおそれがある。]

## 【使用上の注意】

### 〈重要な基本的注意〉

1. チューブの接合部を曲げたり、チューブを過度に引っ張ったり、押し込むような負荷がかからないようにすること。[接合部の外れ及び液漏れ、チューブの破損等が生じるおそれがある。]

2. 使用中は本品が患者の下敷きになっていたり、ガートルスタンド等に引っ掛かることがないように注意すること。［チューブの閉塞、外れ又は構成部品の破損が生じるおそれがある。］
3. 使用中は本品の破損及び閉塞、接続部の緩み及び液漏れ等について、定期的に確認すること。
*4. ポリカーボネートを使用しているＩＳＯメスコネクタについては、中鎖脂肪酸等の油性成分、油性成分及び界面活性剤を含む栄養剤等を投与する場合、アルコールを含む消毒剤を使用する場合は、ひび割れについて注意すること。［ＩＳＯメスコネクタにひび割れが生じ、液漏れ、空気混入等のおそれがある。なお、接続時の過度な締めつけ、及び増し締め等は、ひび割れの発生を助長する要因となる。］
*5. ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。
6. 本品は自然滴下(落差)方式で使用すること。
7. 粘度が高い又は不溶解物を含む栄養剤等を投与する場合、流量の管理に注意すること。［詰まり等により、流量に変化が生じるおそれがある。］
8. クランプをアルコール等の溶剤でぬれた状態で閉塞させないこと。また、クランプを閉じたまま保管しないこと。［クランプが破損するおそれがある。］
9. 本品を 60℃以上の温度にさらさないこと。［変形やチューブ接合部からの漏れ、外れ等が生じるおそれがある。］

### 〈不具合･有害事象〉

その他の不具合
空気混入、漏れ、変形、捻れ、外れ、緩み、詰まり、亀裂、破損

## 【保管方法及び有効期間等】

### 〈有効期間〉

3 年［自己認証(当社データ)による］
包装の使用期限欄を参照すること。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
株式会社ジェイ・エム・エス

販売業者(問い合わせ先)
テルモ株式会社
TEL 0120-12-8195
テルモ株式会社は、ＤＥＨＰフリー規格のみを販売する。